

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和7年度 第1回三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会
開催日時	令和7年7月28日（月）14:00～15:40
開催場所	危機管理センター 301・302 会議室
出席者氏名	山神会長、北川副会長、安藤委員、真鍋委員、中嶋委員、田中委員、小林委員、佐藤委員、細川委員、戸城委員、高橋寛栄委員、石川委員、藤田委員、瀧本委員、高橋舞委員
欠席者氏名	なし
事務局職員氏名	市民環境部 西岡部長、人権課 高木課長、門田主任
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員及び事務局自己紹介 5 議事 （1）第4次三豊市男女共同参画プランの令和6年度進捗状況について （2）令和7年度三豊市男女共同参画に関する事業計画について 6 閉会
配付資料	議題資料1-1 第4次三豊市男女共同参画プランの進捗状況 議題資料1-2 第4次三豊市男女共同参画プランに掲げている目標に対する状況（令和6年度実績） 議題資料1-3 第4次三豊市男女共同参画プラン施策の具体的取組状況一覧（施策体系別：令和6年度実績） 議題資料2 令和7年度の主な男女共同参画に関する事業計画 参考資料1 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会 委員名簿 参考資料2 三豊市の男女共同参画の推進体制 参考資料3 三豊市男女共同参画社会づくり推進協議会設置条例、三豊市男女共同参画推進条例 次第、「第4次三豊市男女共同参画プラン」冊子、「第4次三豊市男女共同参画プラン」概要版
その他	総務課、危機管理課、秘書課、人事課、産業政策課、健康課、介護保険課、保育幼稚園課、福祉課、子育て支援課、農林水産課、学校教育課、生涯学習課 出席

議事内容（要旨）	
事務局	・開会 ・委嘱状交付 ・市長挨拶
各委員、事務局	・自己紹介
山神会長	・挨拶
事務局門田	・会議の公開について説明
山神会長（進行）	・議事に進む前に会議の公開について異議がないか確認したい。（異議なし） ・議事（１）第４次三豊市男女共同参画プランの令和６年度進捗状況について、事務局より説明願いたい。
事務局	議事（１）第４次三豊市男女共同参画プランの令和６年度進捗状況について ・配付資料の確認 ・参考資料１、参考資料２、参考資料３の説明 ・「第４次三豊市男女共同参画プラン」の説明 ・議題資料１－１、１－２、１－３の説明
山神会長（進行）	・質問や意見を頂戴したい。
瀧本委員	・議題資料１－２のNo. 18『市職員の女性管理職の割合』、No. 19『市役所における男性職員の育児休業の取得率』及びNo. 24『市職員の男女別年次有給休暇平均取得日数』について。目標値が令和７年３月末までとなっているのは、特定事業主行動計画の目標値に合わせているためということだが、期限を過ぎている。目標値については検討されたか、また今後の考えを伺いたい。 ・議題資料１－３のNo. 16『意識の改革』Ⅱ－３－(1)－イー(ア)－(ア)で、啓発活動補助金は令和５年度で終了したとあるが、取組内容としては補助金交付を２団体に行ったとしている。補助金交付がなくなり残念だと思っていたが、整合性がないと思うがいかがか？ ・議題資料１－３のNo. 36『ワークライフバランスの推進重点』、学童保育の現状について。開設時間が拡充されたということで非常に良かったと思っている。現在、待機児童はいないのか？また、児童数の増減について知りたい。豊中町は来年度小学校が統合するが、それ以降の学童保育の運営について方向性をおききたい。
山神会長（進行）	・３つほど説明をお願いします。
人事課	・今年度４月に、令和７年度から１１年度までの５か年計画で特定事業主行動計画を改定した。女性管理職の割合を２５％と設定している。 ・男性職員の育児休業の取得率は、２週間以上の男性職員の育児休暇の取得が最近伸びているため、８５％と高めの数字設定としている。 ・年次有給休暇については１４日の設定だが、国家公務員の７割強という値を参照している。
山神会長（進行）	・よろしいですか。
瀧本委員	・はい

山神会長(進行)	・ 2 つ目、議題資料 1-3 の 4 ページ、補助金が令和 5 年度で終わっているが、6 年度、2 団体に渡しているのは整合性が取れていないのではということだが、いかがか？
人権課	・ ご指摘ありがとうございます。記載が誤っており、令和 6 年度の達成状況で、2 団体に補助したと記載があるが、事業が終了しているため、補助金交付はなく、訂正してお詫びする。
山神会長(進行)	・ 令和 6 年度は補助金の交付はないということで訂正をお願いします。 ・ 3 つ目は学童保育について、来年度以降の方向性と、進捗をお願いします。
学校教育課	・ 放課後児童クラブの受け入れ時間拡充については良いと意見をいただいた。令和 6 年度から、夏休み等の長期休業中は 7:30~18:30 と、前後 30 分ずつ時間延長している。 ・ 登録人数は、児童数は全体に減っている中、登録者数としては微増している。実際の数字は令和 6 年の 4 月時点で、登録者数が 1,320 人だったのが、令和 7 年度の 4 月では 1,339 人で。待機児童は発生していない。 ・ 豊中町の小学校統合に伴う状況については、5 つの小学校が来年度ひとつの小学校になる。他の放課後児童クラブも今それぞれ実施しているところだが、1 つの小学校に専用の施設を設け、そこで 1 つの放課後児童クラブとして運営する予定。その運営については、現在プロポーザルの審査委員会を実施しており、今後、その運営者を決定していく流れで考えている。今回、豊中町については、新たに放課後児童クラブとあわせて放課後子ども教室を一体的に実施する予定にしており、その 2 つを行える事業者ということで、今募集をしている。そのため、来年度以降は民間に委託する形で、ひとつの放課後児童クラブとして運用をおこなっていくというような流れになる。
山神会長(進行)	・ そのほかの意見はいかがか。
高橋寛栄委員	・ 議題資料 1-2 のⅢ参画の推進 No. 20『市内事業所における「女性活躍推進法」に基づく「一般事業主行動計画」の届出社数』について、伸びていない状況だが、あまりご存知のない企業も多いのではないかと。「一般事業主行動計画」というと、やや難しい感じがするが、簡単なものなので、ぜひ周知をもっとしていただければと思っている。女性が働きやすい職場は、大概男性も働きやすい職場だと思う。若い方もよく分かっている、ホームページ等に計画が示されている企業はイメージのプラスになると思うので、そういった点でも「一般事業主行動計画」はぜひもっと増えればいいのではないかと。もう少し分かりやすく、啓発のチラシだけでは難しいと思うので、メリットなどもお伝えしながら、周知して増やしていくこともできると思う。
山神会長(進行)	・ 担当課の返答をお願いします。
産業政策課	・ 「一般事業主行動計画」を策定ということ、なかなか普及が進まないというところもあるので、委員からのご意見のとおり、メリットや計画作成の優位性の周知も含めて啓発に力を入れていきたいと考える。
山神会長(進行)	・ 参考にして是非、取り入れていただきたい。その他の意見をどうぞ。

佐藤委員	・議題資料 1-2 のⅢ、参画の推進 No. 26『自主防災組織の役職における女性の割合』について、自治会が自主防災組織を管理しているため、実績の値をつかみにくいとのことだが、数値がないと現状がつかみづらく、今後を考えるときのネックの部分や、その数値の理由、問題点が出てこないと思う。数値をつかむ方法を考えていれば教えてほしい。 ・相談窓口の周知については、窓口の情報が目に入りやすいようにしてほしい。例えば広報誌の定位置に、相談窓口の一覧（部署を超えての）を掲載する等、市民に情報が届きやすいようにしてほしい。相談したくてもできていない方がたくさんいると思うので、そこのところをお願いしたい。 ・議題資料 1-3、No. 30 産業政策課のところで、令和 6 年度に「よろず支援拠点」があったが、令和 7 年度の「よろず支援拠点」の現状について知りたい。 ・仕事の仕方が多様化している。学童等、保育の時間を伸ばすこともすごく大事なことだと分かっているが、例えば夏休みだと子供たちが朝の 7 時半から夕方の 6 時半まで 11 時間、狭い部屋で活動している。親御さんも仕事しないといけないうというのはすごく大変なのもわかるが、子供たちが 11 時間、いつも学童の部屋で毎日過ごして、時には土曜日でも学童に行かなければいけないという状況。子どもたち大丈夫なのかな？と心配である。熱中症の危険があるため、外でも体育館でも遊ばず、長時間部屋で遊ばないといけないう状況である。私の法人も学童をしているが、色々なイベントを実施し、子どもたちが飽きないように頑張っている。 ・お父さん、お母さんや家族が、子どもと一緒に触れ合える時間が持てるようにするには、企業の協力が必要だということは毎回この協議会で伝えており、仕事の仕方等の改善について、行政から企業に対してのアプローチが必要と感じている。
山神会長（進行）	・相談窓口、よろず支援拠点、学童の部屋の子どもの利用とかあり方、合わせて子どもとの関わりの中での企業への呼びかけ、大きく 4 つに関係して返答をお願いしたい。
危機管理課	・No. 26『自主防災組織の役職における女性の割合』については、役員に変更があった場合の届出を広報誌や、年度初めの自治会長会連合会で依頼しているが、全ての自主防災組織からは出ていない状況であり、数値がつかみにくい状況となっている。補助金申請時や訓練の機会等には直接話をする機会があり、役員に変更がないか等確認して集約に努めていきたい。
産業政策課	・「よろず支援拠点」についてお答えする。令和 6 年度は「よろず支援拠点」を通じて、研修会、講習会等への参加を促した。今年度も、引き続き昨年度と同様の体制でよろず支援拠点を活用しながら推進したい。 ・子育てがしやすい職場環境に関しては、昨年度もこの場でご紹介したが、ハローワークが「子育て応援求人」という事業を行っている。それに関連し、8 月に三豊市で初めて「子育て応援就職説明会」を開催した。11 社、19 名の参加があり、3 名が就職した。今年度もハローワークと連携して開催する予定である。企業の理解を得ながら事業を進めていく必要性は感じており、今後もハローワークと連携しながら普及啓発をしっかりと図りたい。

山神会長（進行）	・そのほかの意見はいかがか。
人権課	・相談の窓口については、広報誌では人権相談や男女共同参画以外のものも含め最後の方にまとめて載せている。ほかにも、お知らせコーナーに掲載している。ホームページについても意見を参考に掲載を進めていきたい。
山神会長（進行）	・他の意見はいかがか？ では7年度の三豊市における男女共同参画についての事業計画について説明をお願いします。
事務局門田	議事（2） 令和7年度三豊市男女共同参画に関する事業計画について ・議題資料2 令和7年度の主な男女共同参画に関する事業計画の説明
山神会長（進行）	・議題資料2、令和7年度の主な男女共同参画に関する事業計画、大きく5つだが、この件について何かご意見は？
瀧本委員	・議題資料2の⑤「三豊市男女共同参画推進ネットワーク会議」の活動運営支援について、6年度の研修や活動内容についてご紹介いただきたい。ネットワーク会議には頑張ってもらいたいので、予算が少ないなかで、知恵を絞っている活動の幅を広げていただけたらなと思っている。
山神会長（進行）	・男女共同参画推進ネットワーク会議の会長がおられますので、今年度、昨年を踏まえご紹介いただきたい。
小林委員	・昨年度は総会で防災について市長に講演してもらった。 ・議員との意見交換会、またそれに向けての役員、発表者の勉強会を行った。 ・行政との意見交換会 ・葵機工(株)及び石丸製麺(株)の視察・研修は、それぞれ社員、女性を大事にした取り組みを行っているのがとても参考になった。 ・2月に男女共同参画セミナーとして、瀬戸内ワークス株式会社代表取締役の原田佳南子さんに、地域で生きる力、子育てのリアルな日々というテーマで講演していただいた。参加者が少なく、広報の仕方を考えなければと感じた。 ・主にはそのような活動をしている。登録団体が一つ減ったので、ぜひ参加していただける団体が増えてほしい。
山神会長（進行）	・では、セミナーの企画（講師の選定等）にも関わっているということですね。予算が厳しいということはあるが、男女共同参画推進ネットワーク会議は、我々は非常に重要だと思う。広報についても工夫したいとのこと。人材も多く必要だと思う。今、役員は女性の方が多い状況？
小林委員	・今、役員の中で男性は2人。男性に参加していただいているのはとてもよい状況と思っている。
山神会長（進行）	・行政はできるだけ活動がしやすいようにサポートや資金の方も可能な範囲でお願いしたい。7年度の具体的な事業はこれからなのか？
小林委員	・はい。総会は終了しており、女性消防団の方の講演で防災について学習した。議員との意見交換会については現在検討中です。
山神会長（進行）	・活動については、報告を含めてホームページや広報誌で伝わっているのか？
人権課長	・広報誌とかホームページ等では、あまり報告はできておらず、今後、考えていきたいと思う。
山神会長（進行）	・ぜひ知ってもらおうということからはじまらないと、難しいので、せっかく頑張っ

	おられるので、事前事後の周知と公表をお願いしたい。行政と一体となって知ってもらう努力を。頑張ってください。男性も増えたらいいですね。 その他、意見は？
佐藤委員	・ 去年も、予算がかかると言われたが、講演会のリモートや、アーカイブにより後でみられる仕組みを、今年度でなくてもよいが今後考えてほしい。介護や子育て中の方は、出ていくことがとても難しいので、興味のある方は見られる環境作りが必要だと思う。土曜日等、子どもの習い事等の送迎で、なかなか時間がとれない場合に、空き時間にアーカイブで見られると良い。ただ当日の参加者が減るかもしれない可能性については課題だと思う。今後せっかく周知するのであれば、いろんな方に周知できる方法があれば良い。
山神会長（進行）	・ SNSが使いづらい高齢者、若い方の両方に知ってもらうため、チラシや広報誌、両面での広報が必要では。若い方にもどんどん知ってもらうためにはSNSは有効で反響があると思う。色々な広報の仕方を考えるための意見だと思う。
人権課長	・ はい、ご意見ありがとうございます。
高橋寛栄委員	・ 議題資料2の③「経営者向け女性活躍推進セミナー」の開催について。私は役員を始めて10年程だが、三豊市、観音寺市の部長以上の女性、女性経営者が本当に少ない（高松市等と比較して）という実感がある。おそらく風土的なものもあるのではないかと考えている。その本質的な理由を理解した上で、内容をこれからよく検討してセミナーを開催してほしい。女性経営者が増えていない実態を変えるためにもよろしくをお願いしたい。
山神会長（進行）	・ なぜ増えないのかという理由や、ニーズ、地域性や風土、その場所での直接的、本質的なことを意識しながら知恵を出し合うことが重要である。ただやればいいということではないと思うので参考にして、ぜひ頑張ってください。
事務局	・ はい、ありがとうございます。
山神会長（進行）	・ 先ほど、11社の企業が集まるという話があった。
産業政策課	・ 子育て応援の就職説明会に11社の企業が参加した。
山神会長（進行）	・ それも、やはりニーズがあり、来たいと思えるから集まるということである。その他の意見はどうか？
戸城委員	・ 会社、商工会、経営者協会など、いろいろな組織があると思うが、そこの代表を呼び、このような話をきいてもらい現状について確認するのはどうか？
山神会長（進行）	・ 産業政策課の取り組みとして、近い取り組みはしているか。今の提案は、代表者が集まり、いろいろな依頼をするという形の延長線上としての取組方法かと思うが、そのようなものがあれば紹介をお願いする。
産業政策課	・ 産業政策課の取り組みとして、中小企業、小規模企業の振興審議会を開催している。高橋委員も参加いただいているが、その場でも、商工会の代表から意見をいただいている。今年度も開催予定で、男女共同参画推進についてもテーマの1つとして考えたい。
人権課	・ この協議会は委嘱した委員で構成されているため、産業政策課の審議会等で検討された内容をこの様な場で紹介する形で進めていきたいと思う。

山神会長（進行）	・セミナーについては、企業を交えたシンポジウム形式を提案する。市民がききたいと思える、できるだけたくさん来てくれるような内容で。人選が大事であり、コーディネーターを置いたシンポジウムはひとつの方法（県で行っている）。テーマは今の、あるいはこれから大事だと思う、男女共同参画共通の、また三豊市ならではのものがあればそこに乗せると良い。それなら、審議会として産業政策課が企業と取り組む場合とは、また違って市民に聞いてもらう中で広まっていくものもあり、貴重な意見が出てくる可能性もあるため一つ提案する。 ・ネットワーク会議でも何かあれば実施したら良いと思う。
事務局	・ありがとうございます。
山神会長（進行）	・他の意見はどうか？ ・全員からのご発言ではなかったが、共通の思いがあり、三豊市のことを男女共同参画推進ということで考えたこと自体もすごく重要と思っている。 ・副会長の北川先生のほうから何か？
北川副会長	・話をきくと本当に幅が広いと思う。私は社会福祉の専門だが、福祉のことだけではなく、産業などいろいろな場面での問題や課題があると考えます。多様な会の方にご参加いただいているが、横のつながりが必要だと改めて認識した。今年度、会長がおっしゃったように、これから計画の中で工夫できるところがまだまだあるため、大変なこともあるかと思うがよろしくお願ひしたい。 ・この資料（『L G B T Q+について、もっと知ってください』）を紹介していただけたらと思う。
田中委員	・三豊市が「パートナーシップ宣誓制度」を、その後「ファミリーシップ宣誓制度」を始めた。同性同士のカップルや家族に対し証明書を出すという制度になっている。それがきっかけで、このリーフレットを3年程前に制作した。その制度を使っている私たちの写真と、三豊市内に在住の女性同士のカップルも載っている。三豊市に同性同士のカップルがもう既に何組もいるということを実感したかったのでリーフレットにさせていただいた。 ・6月はL G B T Q+の啓発月間になっている。リーフレットの写真のように三豊市が庁舎の前にレインボーフラッグ（L G B T Q+の象徴の虹の旗）を毎年1ヶ月間掲げている。性の多様性という面でも、男女共同参画推進に関連していることを、リーフレットで周知できたらいいと思っている。 皆さんの方で研修等があれば、配布が可能で、結構いろいろな場所で見ている。詫間の郵便局でも配布されている。私がデザインしたポスターも、いろいろな企業が配布してくれている。L G B T Q+という考え方、基礎的なことについて理解してもらいたいと思っている。 ・L G B T Q+は一番新しい人権課題と言われており、21世紀になり今、多様性とともに概念がどんどん広がっている。令和6年度に、私たちと、もう1組の女性同士のカップル、そして私たちと共同している佐藤弁護士との5人で「みとよ虹色研究会」を立ち上げた。三豊市に3館ある隣保館（人権センター）で、最近L G B T Q+当事者や支援者が月1回集まれる場所として、居場所事業を開催している。三豊市のL I N E等で周知しているので、当事者ではなく

	でも、例えばL G B T Q+に関する情報が知りたい方等、是非おいでください。
山神会長(進行)	・ネットワーク会議も、皆さんに知ってもらうためにこういったものを作るとか。今お話しくと本当に伝わってくるし、いろいろな取り組みの仕方があると思うので、参考にされたらと思う。 ・ここで協議会を終わりたいと思うがよろしいか。 では、事務局にお返しする。
事務局	・部長挨拶 ・閉会

以上